

# 講演会講師論稿

## 講演会報告

### 研 修 部

平成二十三年の春季講演会は新企画により、会員の方々の研究発表の場とすることとし、三月十九日（土）別府中央公民館にて会員三名の方々による講演・公演を行いました。

まず、和算研究家の徳田建司氏による「和算入門」の講演があり、珍しい歴史研究に触れることができました。「源氏香」や『塵劫記』の「継子立」、社寺に奉納された「算額」では宇佐の広瀬井手の完成を祈念して由原（杵原）神社に掲げら



徳田 建司氏

れた算額など、和算の計算法や成果など時間が足りなくなるほどお話いただきました。

次いで、天台宗玄清法流（盲僧）護生院住職の佐藤正映氏の盲僧琵琶の公演が行われました。演目は故兼子鎮雄の琵琶歌「石垣原」



佐藤 正映氏

で吉弘嘉兵衛統幸の活躍を主題としたものです。全文が『別府史談』第二十二号百十二〜三ページに掲載されています。

最後に本会の理事でもある外山健一氏による別府における「上総掘り」についての講演が行われました。

講演内容については講師論稿に原稿をお寄せいただいていますのでお読みください。

五月十五日（日）の総会時の記念講演会は、別府中央公民館にて、前大分県立先哲資料館副館長の真野和夫氏による「邪馬壱国八女説」の講演が行われました。『魏志』倭人伝を考古学の成果から検証する新手法に触れることができました。



外山 健一氏

方位と距離から邪馬台国を筑後川の南、八女の地に当てはめています。

邪馬台国までの各国と里程論は、諸論よく耳にしますが、「其の余の旁国は遠絶にして詳す得べからず」の諸国を筑紫の遺跡に当てはめながら邪馬台国の位置を検証しています。発表要旨をいただいていますので講師論稿に掲載します。

秋季講演会は、十月十六日（日）別府市野口ふれあい交流センターにて、十月二十三日（日）に予定している市外史跡探訪地の日出町に関する事前学習になるように、日出町万里図書館長工藤智弘氏に「城下町ひじ歴史散策」の演題でご講演いただきました。



真野 和夫 氏

「陽谷城の歴史」、「木下家の系譜と墓地」、菩提寺の「松屋寺」、殿様の風待ち茶屋「襟江亭」、「帆足万里の墓」、藩校「致道館」などの日出藩関係の史跡の解説をしていただきました。また、日出

の人「滝廉太郎」、金山王の別荘「的山荘」、人間魚雷「回天」特攻訓練基地跡等を解説していただき、隣町「日出町」を詳しく知ることができ、史跡探訪の予備知識を深めることができま

した。  
本年も春季、記念、秋季と三度の講演会を行うことができましたことにお礼申し上げます。



工藤 智弘 氏